

北海道浮魚ニュース

平成 19(2007)年度 5号 (通巻 No.238)

2007年6月29日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道西日本海スルメイカ調査結果 (おやしお丸 : 6/19~6/27 の調査)

前年比で分布密度は上回るが、魚体サイズは小型

スルメイカの分布密度と魚体サイズ

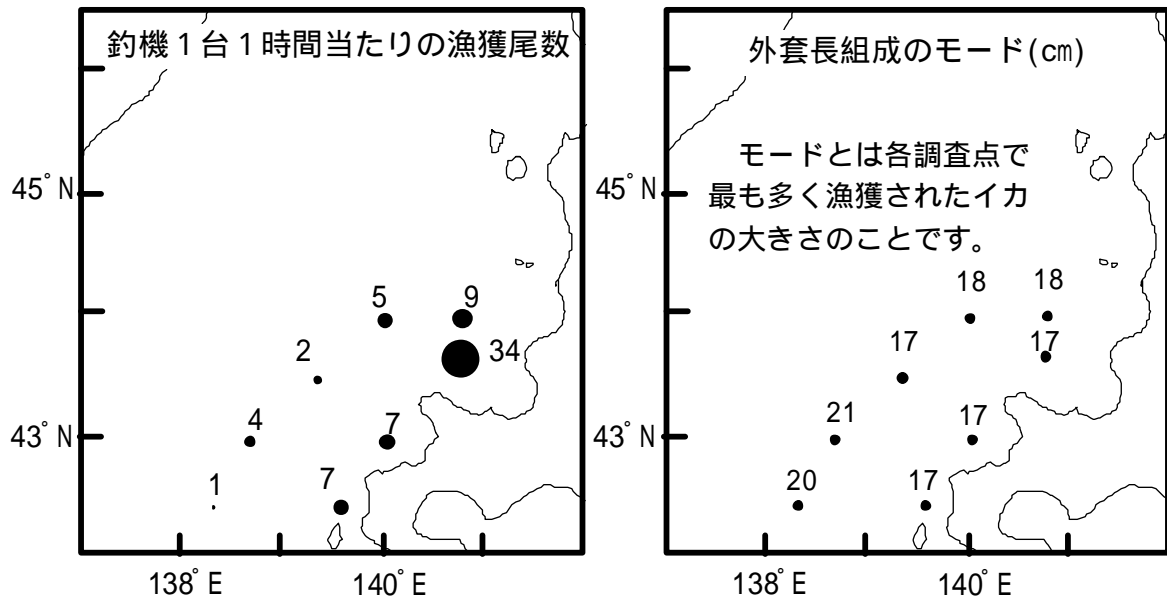


図1 道西日本海におけるスルメイカの分布密度と大きさ

スルメイカの分布密度 (CPUE : 自動いか釣機 1台 1時間当たりの漁獲尾数) は 1~34 でした (図 1 左側)。積丹半島北部の調査点が最も CPUE が高くなっていました。最低は一番沖合で南側の調査点でした。調査全体の平均 CPUE は 9 であり前年 (5) を上回りました (図 2)。しかし、1995 年から 2006 年までの平均値 (13) より低い値でした。

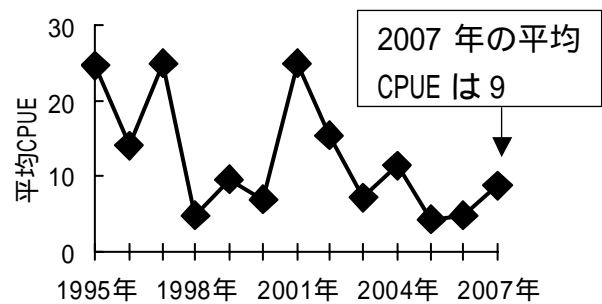
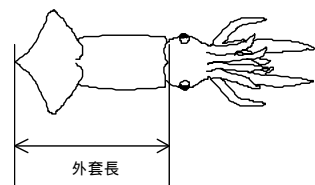


図2 平均 CPUE の経年変化

各調査点におけるスルメイカ外套長のモードは 17cm から 21cm で (図 1 右側), 沖合の南側 2 点が 20~21cm と大きく, それ以外の調査点では 17~18cm と小さいモードの調査点が多くなっていました。全調査点合計でも, やはり外



套長 17~18cm 台が中心で，前年よりも小さく，前々年よりもやや大きいイカが多くなっていました（図3）。

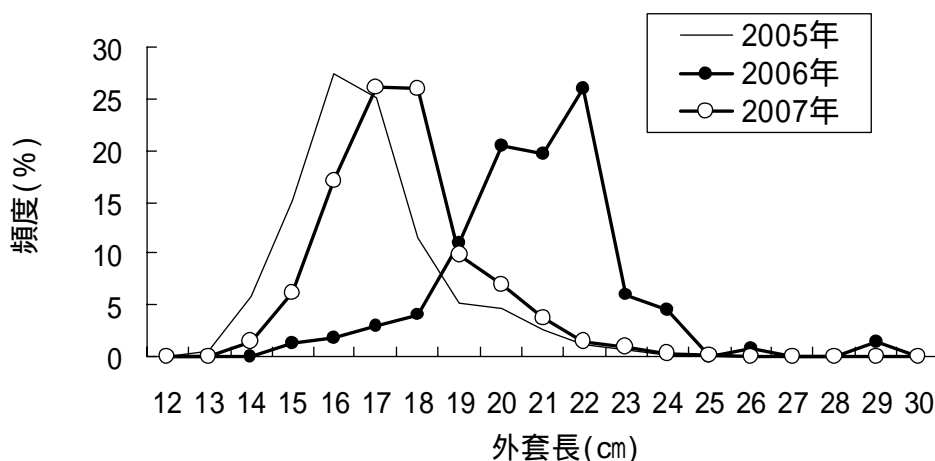


図3 調査海域全体の外套長組成

水温分布

調査海域の 50m 層水温は、4.4~12.5（前年：3.0~11.6）でした（図4）。また、調査海域の表層水温は 14.1~18.5（前年：13.9~17.6）でした。

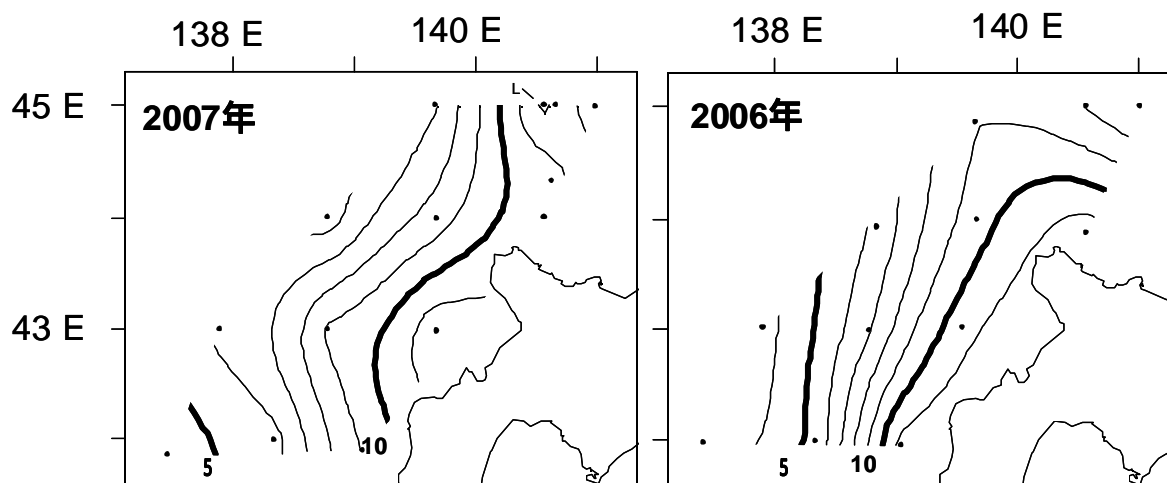


図4 6月下旬の50m深水温分

今回の調査は「日本海スルメイカ漁場一斉調査」の一環として実施しました。全船の調査終了後の7月下旬には，漁況予報が発表されます。

（文責：中央水産試験場資源管理部，TEL:0135-23-8707，FAX:0135-23-8709）